

# 希望のかけはし

## ● 再生資源物に関する市独自条例制定

2023年12月定例会は、11月29日から12月22日まで24日間開催され、市長提出議案86件、議員提出議案1件が可決成立しました。

本議会では先の9月定例会に決算不認定となったLED化推進に関する不適切な事案(vol.2参照)への対応について行政報告の実施や議会からの緊急要望を受けた省エネ家電の買換え支援(右二次元コード)の補正予算、指定管理施設の更新の議決等もなされました。



また、困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の施行に向けて、女性自立支援施設設置条例が制定されましたが、市では独自の施設がなく今後の課題となっています。

さらに、私たちの会派が地元の声を受けて取り組んできた国の法規制の枠外に置かれている再生資源物の屋外保管に関して、その不適切管理による火災等の事故発生や騒音・振動等への対応として事業場設置の事前手続き・許可基準や違反事業者への勧告・命令・取り消し等を定めた市独自条例制定は、課題もありつつ大きな成果と考えます。

## ● 過去最大規模の2024年度予算成立

2024年2月定例会は、2月6日から3月14日まで38日間開催され、予算議案を含む市長提出議案90件、議員提出議案2件が可決成立しました。

2024年度当初予算は、一般会計・特別会計・企業会計をあわせた全会計総額では1兆1816億円となり、前年度より528億円増の過去最大の予算規模となりました(4面参照)。

私たちの会派が行った「2024年度予算編成及び施策に対する提案」の回答を清水市長から受け(右下写真)、それを踏まえた予算審査では、18歳になる年度末まで拡大する子育て支援医療費助成に対する埼玉県補助金交付の要請、会計年度任用職員制度の運用改善、子どもを含めた市民参画の充実等について質疑を行いました。

また、議員提出議案として、超党派の政策条例制定プロジェクトチームによる「さいたま市インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援等に関する条例」(3面参照)や「さいたま市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の一部を改正する条例」が可決成立しました。

## ● 会派プロジェクトチーム発足と議論の活性化

私たちの会派では、改選後初めての「市政報告会2023」をワークショップ形式で開催しました(11月12日)。参加いただいた市民の皆様からのご意見は会派基本方針「市民と共に明日を創る2023」に沿って分類・整理を行いました。

その上で、これらの声を政策提言としてまとめあげるため、会派内に「多様な学び」「障害者家庭支援」「市民参画推進」の各プロジェクトチームを結成し、議論を進めています。今後にご期待ください。

「市政報告会2023」の開催報告は>>>



「2024年度予算編成及び施策に対する提案」の回答は>>>





# 市民に寄りそう議会に ～代表・一般質問 Q & A～

本会議での質問は、録画映像を  
二次元コードよりご覧いただけます。

会派基本方針

「市民と共に明日を創る2023」は >>>



2月定例会  
代表質問

桜区 かもと かつみ  
阪本 克己



議案10 脱炭素・循環型社会とみどり豊かな都市の創造

## オーガニックビレッジ宣言の実現に向けて

- Q 市内新規就農者は有機農業を目指す傾向にある。本市がオーガニックビレッジ宣言を行うことで、都市近郊農業の発展につながると考えるが、見解を伺う。
- A 農業従事者の高齢化と後継者不足が続く中、有機農業を含む多様な担い手が相互理解と共存共栄を図ることで、都市農業の魅力が高まる。今後、農業者、消費者、販売・流通関連の事業者等で構成する検討会を設置し、様々な立場からご意見をいただきながらオーガニックビレッジ宣言の実現に向けて検討を進めていく。

議案8 持続可能な働き方と経済成長の実現

## デジタル地域通貨導入の経済的効果は

- Q スマートフォン決済が暮らしに浸透してきた。その一方で、市内事業者の負担する決済手数料が、市外の決済事業者へ流失している。本市独自のデジタル地域通貨機能を含む市民アプリ導入の効果を伺う。
- A 市民には、3%分のポイント還元、ボランティア活動や健康促進活動へのポイント付与等のメリットがある。事業者にとっては、加盟店利用による売り上げ増加や低い決済手数料率による負担軽減、さらに、広告掲載やクーポン配布等の機能搭載による誘客も可能となる。市民アプリ導入により市内経済が活性化していく効果を期待している。



12月定例会  
一般質問

岩槻区 まつもと しょう  
松本 翔



議案8 持続可能な働き方と経済成長の実現

## 歴史資源として「太田資正」の積極的な活用を

- Q さいたま市が誇る戦国時代の国衆・太田資正の注目度を上げることで、大河ドラマやゲームで登場する等の可能性が高まると考える。改めて、太田資正ゆかりの地を歴史資源として、市内にある各史跡の案内板等の設置を提案する。
- A 今後も、岩槻区や関係機関と情報共有しながら、太田資正や本市の歴史や文化にゆかりのある方々について、誘客につながる案内板の設置をはじめ観光資源として有効な活用を研究する。

議案11 命と暮らしを守る防災力と地域安全の向上

## 宅地造成等規制法改正への対応は速やかに

- Q 違法な土砂の堆積行為に対しては、これまで環境局で対応してきたが、改正法の成立により、事案に対応する担当所管が都市局へと変わることが考えられる。土砂の違法盛土の事案が発生した際は、市民の財産や生命が奪われることのないようスピード感を持って取り組むよう要望するがいかがか。
- A 土砂の盛土に関する規制区域の指定後の工事許可や検査等は、都市局の新たな業務となる。今後も庁内の関係部署と警察等の関係機関と十分調整を図りながら、適切な体制を構築し、運営体制を強化する。

議案8 持続可能な働き方と経済成長の実現

## 将来の財政状況についての市長の認識は

- Q 今後、人手不足が深刻化し、人件費を含む物価が高騰し、行政サービスに係るコストはますます上昇することが予想される。本市の財政収支に関する中期試算では、2028年度に414億円もの収支不足が予測されている。長期的に厳しい財政状況への対応について、市長の見解を伺う。
- A 総合振興計画に基づく行政改革を迅速かつ強力に加速前進させていく。歳入面では、市税の収納率の向上や国庫補助・自主財源の確保、公民連携による民間資金の更なる活用、社会経済状況を踏まえた使用料・手数料の適正化に取り組む。歳出面では、既存事業の政策効果の検証と見直し、学校施設等の老朽化対策を含む投資的事業の標準化を図る等、本市にとって真に必要な事業を着実に推進し、持続可能で規律ある財政運営を進めていく。

議案14 誰もが健康で心豊かにスポーツ・文化にふれあえるまち

## 「さいたま国際芸術祭」の今後のあり方は

- Q 現代アートチーム目[mé]のディレクションによるさいたま国際芸術祭2023は、何が本当で何が本当でないのかの問いを投げかけたユニークな芸術祭であった。一方で分かりづらかったという声もあり、多くの市民が楽しめる工夫や情報の伝達、また、レガシー事業としての市民プロジェクトとメイン会場でのアートプロジェクトとの統一感の薄さが課題にあげられた。今後の芸術祭への取り組みについて伺う。
- A 本芸術祭は「これまでにない芸術祭でおもしろかった」と好評を得た。一方の分かりづらいつという声には、案内体制やディレクターによるツアー開催等を行った。多様なプログラムを展開し、必要な情報を適切に伝えられるよう努めていく。今後も市民参加型芸術祭として市民プロジェクトと連携強化を図ることで一体的に展開し、多くの皆様に愛される国際芸術祭を目指していく。



12月定例会  
一般質問

北區 あいかわ あやか  
相川 綾香



議案6 子育て世代に行き届く支援体制の構築

## 多様な学びを子どもが選択できるように

- Q 不登校児童生徒や保護者に向け、訪問看護等の民間サービスの情報提供をさらに強化すべきと考えますが、見解は。
- A 訪問看護に関しては、市内6か所の教育相談室や家庭訪問をする機会の多いスクールソーシャルワーカーに情報提供を行っている。不登校児童生徒や保護者が孤立することがないよう、学校内外の機関に確実につなぐことが重要。学びの選択肢の幅を広げるために、民間の不登校支援も含め、各種情報の提供に努める。

議案5 社会全体で子どもと若者を支えるまち

## すべての子どもたちに安心した家庭を

- Q 本市では、乳幼児29人、児童生徒122人が児童福祉施設で暮らしている(2023年11月末現在)。養育里親を増やすために、幼稚園や保育園、小中学校、子育て施設等で子育て中の保護者に向けた周知啓発についての見解を伺う。
- A 集客が見込まれる休日の商業施設やサッカーの試合会場等で里親制度のパネル展示やリーフレット配布、大型ビジョン配信等で周知啓発活動を行っている。子育てが一段落した方を含め、子育て経験を有する方への広報も効果的であると認識しているため、親子が集まる場所での啓発活動も検討していく。



2月定例会  
代表質問

大宮区 にしやま さちよ  
西山 幸代



議案4 すべての子どもに学びと成長の機会充実

## さいたま市の教育の目指すところは

- Q 成績を重視する教育も必要だが、公教育では学習の遅れや家庭環境等に困難を抱える子どもたちを支えていくことに重点を置くべきではないか。教育長が変わったことを契機に、本市における公教育の目指す方向性の転換を図ってはどうか。
- A 子どものWell-being(幸せ)を保障する教育が公教育の役割だと考える。2024年度は、スクールカウンセラー、医療的ケア児に対する看護師、スクールサポートスタッフの増員等を行う。また、大学進学「夢」支援を創設し、経済的に困難な学生の支援を行う。

議案5 社会全体で子どもと若者を支えるまち

## 安心して過ごせる子どもの居場所を

- Q 子ども・若者の声を軸に「居たい・行きたい・やってみたい」の視点に立ち、社会全体で子どもたちを支えるまちづくりが必要。本市の2024年度の取り組みは。また、居場所を運営する団体に市が積極的に関与することで持続可能な運営になると考えるが、見解を伺う。
- A 2024年度は新たに、養育環境に課題を抱える学齢期の子どもを対象に学習支援、生活支援、食事の提供を行う常設型の居場所モデル事業を2か所で行い、以降小学校区に1つ設置できるように取り組む。また、各種団体の事業継続に必要な支援も行っていく。



12月定例会  
一般質問

北區 ながい りな  
永井 里菜



議案6 子育て世代に行き届く支援体制の構築

## 実情を踏まえたひとり親家庭の支援を

- Q 明石市では、養育費が受け取れていない方への支援として「養育費の立て替えサポート事業」や「不払い養育費の訴訟補助」を展開している。本市も導入すべきと考えが見解を伺う。
- A 明石市の事業については、養育費の不払い解消に向けた先進的な取り組みであり、効果的な支援だと認識している。速やかに子どもに救済の手を差し伸べるためにも早期の実施に向けて検討を進め、本市としてもひとり親家庭の実情を踏まえた持続可能な独自対策について考えていく。

議案10 脱炭素・循環型社会とみどり豊かな都市の創造

## ペロブスカイト太陽光電池導入を先駆けるべき

- Q ペロブスカイト太陽光電池は、従来の太陽光パネルでは設置不可能だった屋根やビルの壁面等に使用でき、軽くて曲げることが可能でコストも削減できる等多くのメリットがある。新庁舎を含む公共施設への導入を早期に検討すべきと考えが見解を伺う。
- A これまで積載荷重の検討等により太陽光パネルの設置を断念してきた本市にとって、新たな再生可能エネルギー確保の手法として期待している。今後も国や民間機関の研究動向を注視していくとともに、ゼロカーボンシティ実現に向けて導入を検討していく。

議案11 命と暮らしを守る防災力と地域安全の向上

## 女性視点での防災対策を

- Q 防災や災害時には女性の視点が重要なため、防災対策における意思決定の場への女性の登用と、女性防災アドバイザーが少ないことから、今後の育成及び活躍の場を広げていくことへの考えについて伺う。また、女性リーダーの育成に男女共同参画推進センターが今後どのように関わっていくのかについても伺う。
- A さいたま市防災会議の女性委員の継続的な登用率向上に努め、今後、委員だけでなく幹事にも女性の推薦を依頼し、意思決定の場への女性の参画を推進している。女性防災アドバイザーは、その必要性や資格取得の補助制度を広く周知し、研修会の開催とともにスキルアップを行い、活用に努めていく。女性リーダーの育成は、仙台市等を参考に関係部局で連携を図り検討していく。

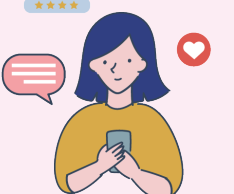
議案8 持続可能な働き方と経済成長の実現

## 職員の能力を發揮できる人事制度に

- Q 質の高い行政サービスを提供するためには、市役所の3つの基本的方向性である「人材」「組織」「情報」の確立と、効率的な運営が必要である。そのためには、職員の確保や育成、働きやすい環境、能力を十分に發揮し協力し合いながら業務が遂行できる組織体制が重要。昨年8月に行ったキャリア意向アンケート調査の結果とそれを踏まえた課題、今後の人事制度について伺う。
- A アンケートでは、健康や家庭に事情を抱えている職員が希望した場合に降任を認める「希望降任制度」や、育児・介護を理由に退職した職員を再び採用する「キャリア・リターン制度」等の導入を求める回答が多くあったため、これらの制度導入の検討を進めていく。また、男女問わず重責につくことへのためらいから管理職に就きたくないという回答が一定数あるため、定年引き上げに伴う役職定年となる職員が管理職のサポートを行い、管理職の負担軽減を図っていく。

2024年 議員提出議案第1号

## 「ネット安心条例」が可決！



多発、深刻化するインターネット上の誹謗中傷事案を受けて全会派が参加する政策条例制定プロジェクトチームが昨年6月に発足しました。研修や視察等の調査研究と議論を重ね、パブリックコメントを経て、2月定例会に「さいたま市インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援等に関する条例(ネット安心条例)」が可決成立しました。同趣旨の条例は政令指定都市では初の制定です。

条例策定議論の過程では、誹謗中傷等の定義をより明確にすべく私たちの会派から特に要望した「不当な差別的言動」との文言が条文に追加されました。表現の自由の重要性は当然ですが、他人の名誉や感情を傷つける誹謗中傷、ハラスメントやヘイトスピーチ等は決して許されるものではなく、ネットを通じて発信・拡散された言葉の暴力がどれほど人を傷つけ、時に最悪の結果をもたらしているかに無自覚であってははいけません。

条例は、全ての市民等が互いに思いやりを持ち、基本的人権を尊重しつつ、ネットの恩恵を享受できる安全で安心な地域社会の実現を目的としています。市と市民と事業者が三位一体となり、誹謗中傷等の防止とネットリテラシー向上のための施策、被害者に寄り添った相談支援体制の整備、またそれらに必要な財政上の措置等が盛り込まれ、4月1日から施行されます。

インターネット上の誹謗中傷等対策に関する条例検討  
プロジェクトチームの全会派資料は >>>





# 厳しい財政状況ながら積極予算

～2024年度予算の特徴～



市議会ウオッチャーのウォレットとんです！  
清水市長は2024年度予算を「選ばれる都市として、さいたま市の新時代へのシンカに取り組む予算」と言っていたね。  
新年度予算の特徴を教えて。

**議員** 一般会計予算の総額は7120億円。前年度比430億円増で9年連続過去最高となりました。

歳入の財源となる市税収入は17億円減の2828億円。市の貯金である財政調整基金からは財源不足を補うため171億円を取り崩して繰入れました。市の借金に当たる市債は139億円増の899億円です。

歳出では、発達障害者地域支援の強化や認知症の人にやさしい地域づくり等にかかる扶助費、サーマルエネルギーセンター整備等にかかる普通建設事業費、また、人件費は定年引き上げに伴う手当等が増加しています。

厳しい財政状況となった予算編成ですが、さいたま市は積極的に事業へ着手していきます。



新年度予算の主な事業は？  
会派の予算提案は反映されていたのかな。

**議員** 子ども・子育て関連予算に1577億円を確保し、18歳になる年度末まで拡大する子育て支援医療費助成、大学進学「夢」支援（3面参照）や低所得の子育て家庭児童進学支援等を行います。脱炭素化を図るゼロカーボンシティ関連の施策に324億円、デジタル地域通貨導入の事業（2面参照）に12億円が計上されました。

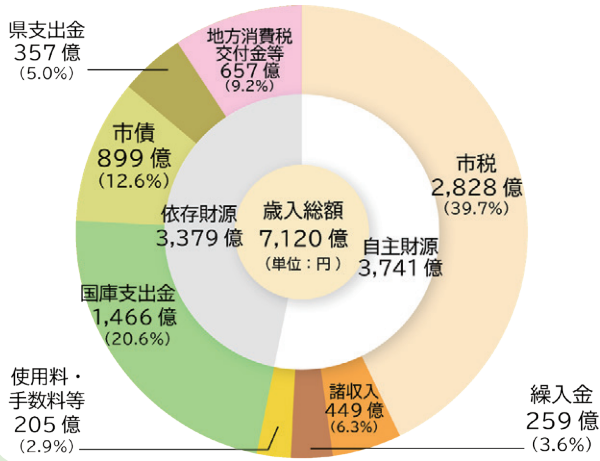
また、長年私たちの会派が提案してきた学校給食費公会計化58億円やがん患者のアピアランスケア支援事業1800万円、救急車への自動心臓マッサージ器導入780万円も盛り込まれました。

予算審査では、さいたま市の財政運営が健全に維持されていくのかをチェックしました。今後も誰一人取り残さない社会の実現に向けて、私たちは議論を重ねていきます。

## 2024年度当初予算（一般会計）

参考「令和6年度予算案の概要」区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と合計額は一致しない場合があります。

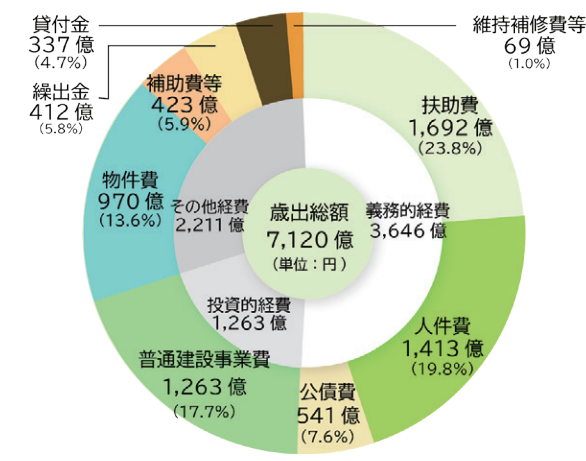
### 歳入の内訳※1



### 歳入の内訳※1

諸収入…預金利子や宝くじ等の収入  
繰入金…特別会計や財政調整基金等からの繰入  
使用料・手数料など…公共施設の使用料、住民票等の発行手数料等の収入  
国庫支出金…国が必要だと認めた事業に対して国からの交付金  
市債…公共施設整備等の財源として調達する長期の借金

### 歳出（性質別）の内訳※2



### 歳出の内訳※2

扶助費…児童手当、生活保護費、医療費の助成等の経費  
公債費…借入れたお金（市債）の返済にかかる経費  
普通建設事業費…道路や公園、学校等を整備する経費  
補助費等…行政上の目的で交付する補助金等の経費  
貸付金…中小企業資金融資等の貸付金

## 予算委員会での主な議論から

### 子どもの育ち

こどもまんなか・少子化対策会議を設置し、児童センターでの子ども運営会議のモデル事業実施や子どもの提案の対象の年齢拡大を組み込んでいるが、市の施策に子どもの意見をさらに反映するよう求める。

**新規** 子ども・青少年希望基金の創設

**拡大** 児童扶養手当の拡充

### 子どもの学び

医療的ケアや外国ルーツ、不登校等を含む様々な背景を持つ子どもそれぞれへの支援や配慮が不十分である。教職員の十分な配置や研修の充実、また学校現場の負担を軽減するためのICT化の推進を求める。

**拡大** 小中学校での看護師による医療的ケアの実施

**拡大** スポーツを科学する生徒の育成

### 市民生活

18歳成人となったことを踏まえてクレジットカード等の借入れや各種契約等について、消費生活講座・セミナーの開催時に若い世代に対する取り組みの強化を求める。

**新規** さいたま市民医療センターの浸水対策の実施

**継続** 不法投棄を防止する対策の推進

### 予算委員会の審査風景



（左から）西山幸代委員、松本翔委員、三神尊志委員長、登壇する出雲圭子委員

### まちづくり

狭い歩道内の電柱は、白杖を使用する視覚障害者の通行の支障となり、ベビーカーや車イス利用者にとってもやむを得ず車道を通ることになるため非常に危険な状況である。こうした道路の無電柱化を求める。

**新規** （仮称）大宮警察署跡地の公園整備

**新規** 高齢者等の外出促進・AIデマンド交通の実証実験

### 伝統産業

市内で技術や経験等が受け継がれてきた人形、盆栽、川魚、御宮、七宝等を単にPRするだけでなく、それらを活かした新商品の開発や販路拡大、販売方法の多様化等を求める。

**拡大** 中小企業の生産性・付加価値向上を促す支援

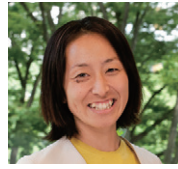
**拡大** 大宮盆栽美術館庭園のリニューアル

## 常任委員会別所属議員紹介

### 総合政策



委員長  
添野 ふみ子



相川 綾香

### 文教



委員長  
佐伯 加寿美



三神 尊志



佐々木 郷美

### 市民生活



高柳 俊哉



堤 日出喜



永井 里菜

### 保健福祉



副委員長  
松本 翔



西山 幸代

### まちづくり



副委員長  
出雲 圭子



阪本 克己